

# 第3部

# 基本構想



# 第1章

## まちづくりの目標

### 第1節 里庄町の将来像

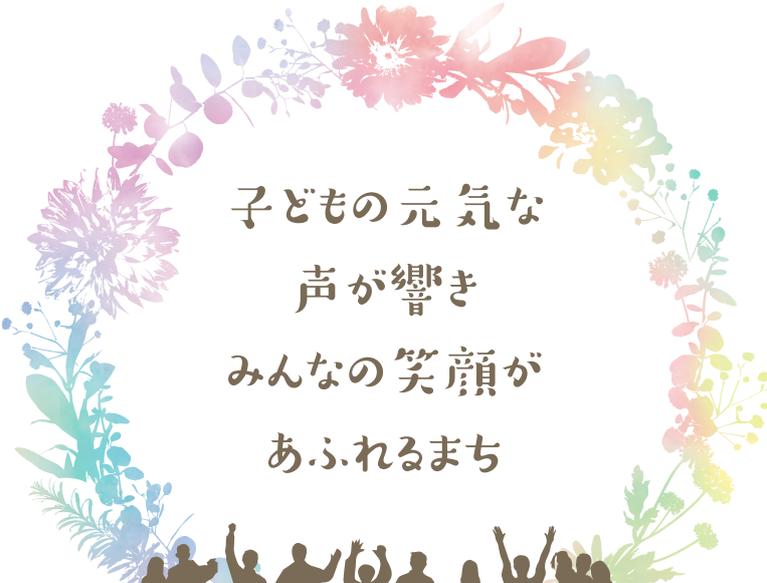
全国的に少子高齢化が課題となる中、本町の人口構造の変化は緩やかに推移するものと見込まれていますが、人口減少は避けられないものとなっています。

今後、本町の人口をできる限り維持しながら、まちの持続可能性を高めていくためには、交通の利便性、ものづくり産業の立地、子育てしやすい環境等の本町の持つ地域資源の優位性にまちの誇りを見出し、これらを活かしたまちづくりが重要です。

これらの地域資源を活用していくのは、町民の皆さんの日常の暮らしになります。そして町民の暮らしが向上することが、里庄町のイメージアップにもつながります。

子どもたちが健やかに生まれ育ち、町民すべてが元気で心豊かに暮らせるまちから、みんなの笑顔が生まれます。子どもたちが進学等で一時期、まちを離れても、将来、また住みたいと思える魅力あるまち、高齢になっても安心して生活できるまちでありたいと考えます。

このために、町民一人ひとりが里庄町のイメージを形づくる主体として、いきいきと活動し、ともにまちづくりを行うべく、次の将来像を目指すものとします。



子どもの元気な  
声が響き  
みんなの笑顔が  
あふれるまち



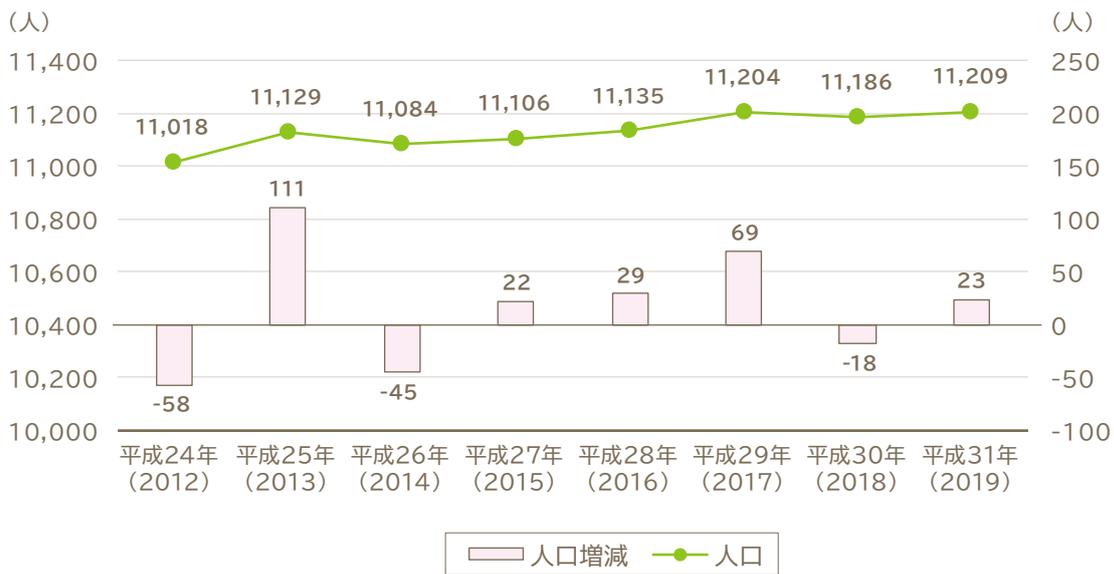
# 第2節 里庄町の人口ビジョン

## 1 人口の推移及び人口動態の推移

各年の転出ピークとみられる3月末の人口の推移をみると、人口は現在まで微増傾向で推移しています。

人口動態をみると、自然増減では死亡者数が出生数を上回る自然減が続いている一方、社会増減では転入者数が転出者数を上回る社会増となっており、転入者数の多さが人口の横ばい状況から微増状況となって現れています。

### 《人口増減の動向》



資料:里庄町 住民基本台帳 各年3月末

### 《合計特殊出生率の推移》



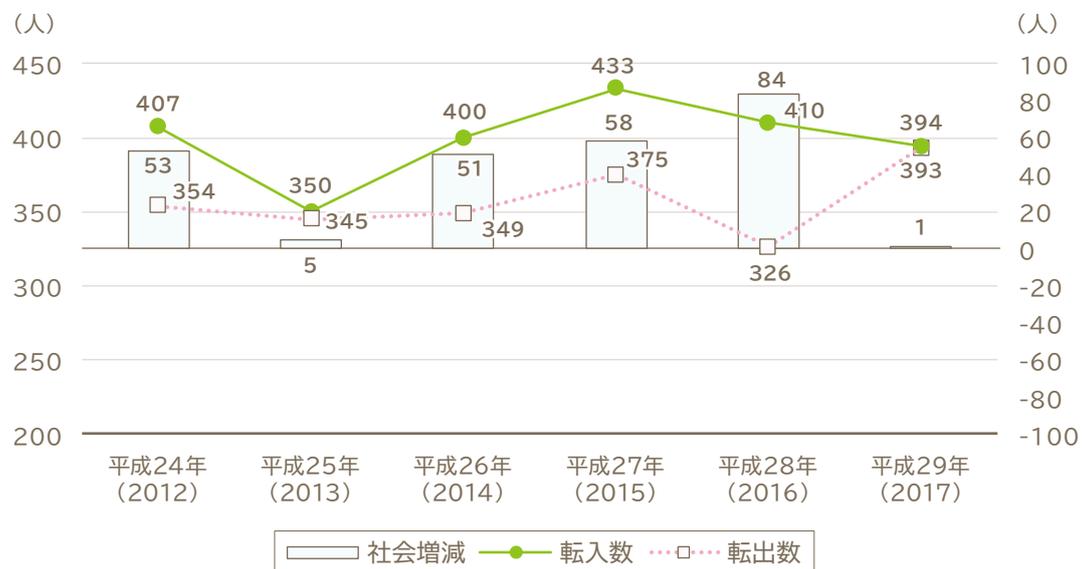
資料:岡山県衛生統計年報

## 《自然動態の推移》



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

## 《社会動態の推移》



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

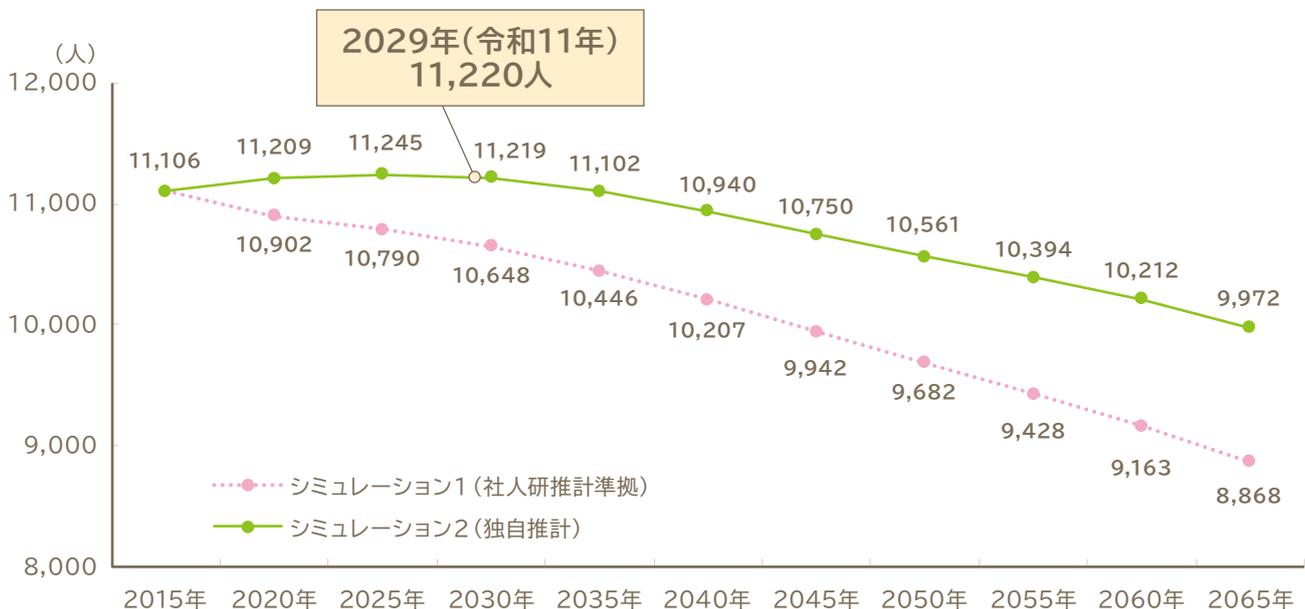
## 2 人口ビジョンに基づく将来人口の目標

本町の人口は、国立社会保障・人口問題研究所における2065年(令和47年)の推計では、8,868人になることが予測されています。

これに対し、本町の人口ビジョンでは、人口減少に歯止めをかけ、町の活力を維持するため、2065年(令和47年)における目標人口を9,972人とし、約1万人を確保する目標を掲げています。

計画の目標年次である2029年(令和11年)における将来人口は里庄町人口ビジョンを踏まえ、11,220人を目指します。

### 《長期的視点による人口推計》



本計画における人口の目標【2029年(令和11年)】  
**11,220人**

## 第3節 土地利用の方針

本町の土地利用の特色は、北は虚空蔵山、南は毛野無羅山に囲まれ、これらの山々の間には国道2号沿道や役場周辺に広がる市街地とその周囲に広がる田園空間から構成されています。

本町では、町民の豊かな暮らしの確保や若者に魅力あるまちづくりを通じて、地域の活性化を推進していくとともに、人や環境にやさしいまちづくりを推進するため、快適で緑豊かなコンパクトなまちを形成することを目標とします。

これらを踏まえ、本町は、令和2年4月に都市計画区域の再編がされた後に、都市計画マスタープランを策定し、今後の都市構造や土地利用等について方針を定めます。



つばきの丘運動公園「海に見える丘」より

# 第2章

## 里庄町未来創造ビジョン(総合戦略)

### 第1節 未来創造ビジョンの目的

わが国の総人口は、2008年の1億2,808万人をピークに減少傾向であり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、合計特殊出生率がこのまま推移すると2060年には約9,300万人になると推計されています。人口減少社会の到来自体は不可避とみられています。

こうした少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施することとされています。

本町においても将来的な人口の減少に対応するべく、花や緑に彩られた豊かな自然に包まれ、交通の利便性が高いという地域特性を活かし、若い世代が安心して働き、子育てができる環境の形成を目指します。そして、町民と協働し、住みたいまち、住み続けたいまちの実現を図ります。

### 第2節 未来創造ビジョンによる重点施策

#### 重点施策1 >>> 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

子ども・子育て支援事業と連携し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまでを総合的に支援できる体制を構築します。

また、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革、男女共同参画等の施策を推進し、男女がともに輝き、希望をかなえながら、十分な愛情を持って子育てができるまちづくりを進めます。

#### 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
結婚推進イベントやおかやま縁むすびネットにおける成婚数	0組(平成30年度)	累計5組(令和6年度)
保育所の定員数	320名(平成30年度)	370名(令和6年度)
幼稚園預かり保育利用人数	36名(平成31年4月1日)	30名(令和6年度)
学童保育(放課後児童クラブ)利用人数	200名(平成31年4月1日)	240名(令和6年度)
職場の中で男女が平等と思う人の割合	24.6%(平成29年度)	35.0%(令和6年度)

## 重点施策2 >>> 魅力あるまちをつくり、人口流入を促進する

本町は比較的人口の流入が多く、人口が微増しているまちです。今後もこの傾向を維持、増進するべく、まちの魅力をさらに高めるとともに、町内外へPRするための情報発信を強化します。

そのため、住宅地の開発や居住環境の改善に努めていくとともに、災害が少ない、交通利便性の良さ、岡山・倉敷都市圏や福山都市圏に近接した立地環境、子育て環境や教育環境の良さ、通信・情報ネットワーク等の生活・社会インフラの充実等、総合的な住みやすさを活用し、魅力あるまちづくりを推進します。

### 重要業績評価指標(KPI)

指 標	達成目標	目標値
下水道普及率	61.4%(平成30年度)	70.0%(令和6年度)
犯罪や交通事故が少なく安全であると思う人の割合	65.5%(令和元年度)	75.0%(令和6年度)
寄島～里庄線 路線バスの一泊あたりの乗車人数	40.9人(平成30年度)	50人(令和6年度)

## 重点施策3 >>> 地域の経済を振興し、安心して働けるようにする

本町は、国道2号沿道を中心にして、工作機械、電子部品、食品加工、医薬品等の優良企業が進出し、雇用の創出や地域経済の活性化を担っています。

今後、地域経済の付加価値や生産性を継続的に向上させていくには、地域イノベーション等を通じた新産業の創出や既存産業の高付加価値化に対応できる有能な人材の確保が必要になります。このため、地域経済を支える若者の地元への就職や定着を促進するとともに、元気な高齢者や子育て期の女性等、潜在的な労働力人口の就労を促進します。

農業分野については、「まこもたけ」をはじめとする付加価値の高い農産物の振興を継続するとともに、6次産業化を図り、生産から製造・加工、流通、消費に至る各段階の高付加価値化を推進します。

### 重要業績評価指標(KPI)

指 標	達成目標	目標値
認定農業者数	12人(令和元年度)	15人(令和6年度)
まこもたけ作付面積	24,500㎡(令和元年度)	26,000㎡(令和6年度)
製造業事業所数	33事業所(平成30年度)	38事業所(令和6年度)
製造品出荷額等	30,471,790万円(平成29年)	31,000,000万円(令和5年)
観光入込客数	5,923人(平成30年末)	10,000人(令和6年末)
「まこもたけ」年間出荷額	735万円(平成30年度)	780万円(令和6年度)

## 重点施策4 >>> 地域住民が活躍し、豊かな暮らしを実現するとともに、時代に合った地域社会を育む

近年、高齢化や世帯の小規模化、個人の価値観の多様化等によって、地域の人間関係が希薄化し、地域活動への参加者が少なくなる等、地域コミュニティの機能が弱まりつつあります。地域力の低下は、地域の子育て機能の低下、地域防災力の低下、防犯機能の低下、地域文化の衰退等、様々な問題につながります。

少子高齢化や人口減少が進行する中で、地域が活性化するためには、年齢・障がいの有無・文化・信条・国籍等にかかわらず、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会を実現することが重要です。一人ひとりが、個性と多様性を尊重され、家庭、地域、職場で、それぞれの希望がかない、それぞれの能力を発揮でき、それぞれが生きがいを感じながら暮らすことができる地域社会の実現を目指します。

こうした地域社会を実現するためには、すべての町民が里庄町に愛着を持ち、地域の暮らしを自分たちの手で良くしていこうとする、シビックプライドの取組が必要です。また、共助、互助の考え方も踏まえ、様々な人々と交流しながらつながりを持って支え合うコミュニティの形成を図ります。

このため、地域をまとめ率先して引っ張っていくリーダーを養成し、「地域経営」の視点を持って活躍できる人材を育成します。

また、情報通信技術等のSociety5.0の実現に向けた技術の積極的な導入を図ったり、SDGsを原動力とした地域づくりを推進する等、国、世界の動きに後れをとらない、時代に合った地域づくりを進めます。

### 重要業績評価指標(KPI)

指標	達成目標	目標値
ふれあいいきいきサロン設置数	36分館(平成30年度)	37分館(令和6年度)
ボランティア参加者数	324人(平成30年度)	350人(令和6年度)
地域支援サポーター登録者数	64人(平成30年度)	100人(令和6年度)
手話奉仕員登録者数	18人(平成30年度)	30人(令和6年度)
自主防災組織率	56.75%(令和元年度)	80.00%(令和6年度)
消防団員数	264人(平成30年度)	268人(令和6年度)
花いっぱい運動参加分館数(参加割合)	79%(令和元年度)	80%(令和6年度)
地域づくりのリーダー養成講座等参加者数	20人(平成30年度)	30人(令和6年度)
行政手続を電子化した事業数	8事業(令和元年度)	18事業(令和6年度)

# 第3章

## 施策の大綱

### 基本目標1 元気でいきいきと暮らせるまち【保健・医療・福祉】

年齢・障がいの有無・文化・信条・国籍等にかかわらず、すべての町民が住み慣れた地域で、相互に助け合い・支え合いながらいきいきと自分らしい暮らしを続けることができるまちづくりを目指します。

そのため、保健・医療・福祉サービスの充実をはじめ、子育て環境の充実、町民参加による健康づくりの推進、地域医療体制の充実、助け合い・支え合いの地域づくり等、町民の健やかな暮らしを支える環境づくりを進めます。

#### 基本 施策

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 地域福祉の推進   | 5. 人権尊重のまちづくり |
| 2. 子育て支援の充実  | 6. 医療体制の充実    |
| 3. 高齢者福祉の充実  | 7. 健康づくりの推進   |
| 4. 障がい者福祉の充実 | 8. 社会保障の充実    |

### 基本目標2 希望を持ち、豊かな心を育むまち【教育・文化・スポーツ】

次代を担う子どもたちが、心豊かで主体的・創造的に生きていくための資質や能力を伸ばし、国内はもとより世界でも活躍できるような社会人となるよう、学校・家庭・地域等の社会全体が一体となり、子どもたちの育成を支援していきます。

また、町民全体においても、生涯学習や芸術・文化活動、スポーツ活動へ参加する機会を充実することで、個人の課題解決や自己実現を図り、社会参加を通じてその成果を還元することができるまちづくりを目指します。

#### 基本 施策

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 学校教育の充実        | 4. 生涯スポーツの振興 |
| 2. 生涯学習の振興        | 5. 交流活動の推進   |
| 3. 芸術・文化の振興・歴史の保存 |              |

### 基本目標3 快適で安全・安心なまち【生活環境】

すべての町民が「住んで良かった」と思い、町外の人からも「住んでみたい」と実感してもらえるよう、快適な住宅地、公共下水道の整備、ごみ処理施設の整備、公共施設等のバリアフリー化等を行い、安心して住み続けられる定住環境の形成を図ります。

また、災害、事故、犯罪等から町民の生命や財産を守るため、迅速かつ的確な対応が可能な防災対策や防犯・交通安全対策を行うとともに、行政・学校・地域・企業等が協力、連携した安全・安心なまちづくりを進めます。

#### 基本 施策

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 快適な住宅地整備の推進 | 4. 防犯・交通安全対策等の充実 |
| 2. 生活環境の充実     | 5. 消費者教育の推進      |
| 3. 防災・減災対策の推進  |                  |

### 基本目標4 自然と共生する美しいまち【環境保全】

地球規模での環境問題に関心が高まる中、地球温暖化の防止に向けて、限りある資源を活かし、自然と共生したまちづくりが求められます。

そのため、町民・企業・行政が一体となってごみの減量化、資源のリサイクル等に積極的に取り組めるよう意識啓発を進めるとともに、環境の汚染防止と保全に向けた施策を推進し、持続可能な社会を形成することで、緑豊かな郷土を次代に継承していくまちづくりを目指します。

#### 基本 施策

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 自然環境保全の推進 | 3. 緑豊かなまちづくりの推進 |
| 2. 循環型社会の形成  | 4. 治山・治水の推進     |

### 基本目標5 人が集い交流するまち【都市基盤】

本町は、都市圏の中間地点という地理的優位性から、住宅地開発と企業立地が進んだ結果、まちが発展してきました。今後も快適な生活空間と活力ある産業を持続させていくうえで、ひと・もの・情報をつなぎ、その交流を支える都市基盤の整備を進めていくことが重要です。

そのため、計画的な土地利用による道路網等の交通基盤の整備、公共交通による公益施設の利便性の向上、にぎわいと交流を促す快適なまちづくりを目指します。

#### 基本 施策

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 計画的な土地利用の推進 | 3. 公共交通機関の利用促進 |
| 2. 道路体系の整備     |                |

## 基本目標6 活力と魅力あふれる元気なまち【産業】

町民の豊かな暮らしを確保し、活力とにぎわいを生み出し、持続的な発展を創出していくうえで、産業活動は大きな役割を担っています。

町民の豊かな暮らしを実現するため、企業誘致・事業拡大等による商工業の振興を促すとともに、国道2号や里庄駅等の主要交通道路・機関周辺での商工業の活性化、農業の担い手の確保、地場製品のブランド化等による産業の振興により、活力あるまちづくりを目指します。

### 基本 施策

1. 農業の振興
2. 商工業の振興
3. 雇用環境の充実
4. 観光振興・地域ブランドの充実

## 基本目標7 町民とともに創る持続可能なまち【町民参加・行財政】

分館単位の地域づくりを進める本町の特性を活かし、自発的な取組への支援や町政に係る情報発信と参画促進に取り組む等、地域を担う人づくりや地域コミュニティの強化を推進し、町民と行政の協働でシビックプライドによるまちづくりを目指します。

また、本町を取り巻く厳しい財政状況を鑑みながら、効果的で効率的な行財政運営の構築に取り組み、行政サービスの確保と持続可能なまちづくりを目指します。

### 基本 施策

1. 協働のまちづくりの推進
2. 情報バリアフリーの推進
3. 地域に開かれた行政運営
4. 分館活動の充実
5. 計画的・効率的な行財政運営の推進
6. スマート自治体への体制整備
7. 広域行政の推進

# 計画の全体像

## 【将来像】

子どもの元気な声が響き みんなの笑顔があふれるまち



第1部 序論

第2部 総論

第3部 基本構想

第4部 基本計画

※基本目標ごとに掲げる施策から重点的に取り組むものを重点施策として位置づけます

## 基本目標

基本目標 1  
元気でいきいきと暮らせるまち  
【保健・医療・福祉】

基本目標 2  
希望を持ち、豊かな心を育むまち  
【教育・文化・スポーツ】

基本目標 3  
快適で安全・安心なまち  
【生活環境】

基本目標 4  
自然と共生する美しいまち  
【環境保全】

基本目標 5  
人が集い交流するまち  
【都市基盤】

基本目標 6  
活力と魅力あふれる元気なまち  
【産業】

基本目標 7  
町民とともに創る持続可能なまち  
【町民参加・行財政】

## 基本施策

1-1 地域福祉の推進【重点】

1-2 子育て支援の充実【重点】

1-3 高齢者福祉の充実【重点】

1-4 障がい者福祉の充実【重点】

1-5 人権尊重のまちづくり

1-6 医療体制の充実

1-7 健康づくりの推進

1-8 社会保障の充実

2-1 学校教育の充実【重点】

2-2 生涯学習の振興

2-3 芸術・文化の振興・歴史の保存

2-4 生涯スポーツの振興

2-5 交流活動の推進

3-1 快適な住宅地整備の推進

3-2 生活環境の充実【重点】

3-3 防災・減災対策の推進【重点】

3-4 防犯・交通安全対策等の充実【重点】

3-5 消費者教育の推進

4-1 自然環境保全の推進

4-2 循環型社会の形成

4-3 緑豊かなまちづくりの推進【重点】

4-4 治山・治水の推進

5-1 計画的な土地利用の推進

5-2 道路体系の整備

5-3 公共交通機関の利用促進【重点】

6-1 農業の振興【重点】

6-2 商工業の振興【重点】

6-3 雇用環境の充実

6-4 観光振興・地域ブランドの充実【重点】

7-1 協働のまちづくりの推進【重点】

7-2 情報バリアフリーの推進

7-3 地域に開かれた行政運営

7-4 分館活動の充実【重点】

7-5 計画的・効率的な行財政運営の推進

7-6 スマート自治体への体制整備【重点】

7-7 広域行政の推進